研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（3年次）

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 7. 11
No.22 文責 荒木秀

第2回授業研究会迫る

第2回授業研が、明日に迫りました。今回は、白田先生（2年：算数）と小林先生（3年：国語）の授業になります。授業参観もあり、日程が不規則な中での授業研、本当にありがとうございます。

1、その授業（単元・本時）でめざす深い学びをする児童の姿は？**ゴールの姿**

深い学びをする児童の姿〈2日目のカレーの学び〉**つながり、自己変容の認知**

1つの学びを他のこと（既習、経験、他教科、友だち、未習、…）と関係づけ、結果、関係づける前と変容した自分を認知する。（4月24日現在）

＜6月22日追記＞第1回授業研究会から

- 自分の将来と関連付けている。学びの地図（見通し）が見えている。
- 実体験を重ね（データを収集し）、数値化（一般化）する。
- 上学年から下学年だけに限らない、下学年から上学年への情報伝達（異学年交流から）。
- 自己との対話を通して、課題に対する自分の現在地を確認し、今後の見通しをもつ。

2、「深い学び」の児童の姿を生むために、授業者がする手立ては？**個人研究**

	個人研究テーマ
2年	低学年を対象とした 一人一人が楽しいと思える 授業づくり
3年	友だちとともに学び、 自ら学ぼうとする 子の育成

お二人の共通点は、「子ども達が主体的、意欲的に学習に向かえるようにする」というところです。本時では、課題の提示の仕方などがポイントになるかもしれません。ぜひ、課題に対する児童の反応の様子をつぶさに観察してください。「楽しく、自ら」学ぶ姿が見られたらいいですね。